

コロナ禍においても、皆さまからの変わらぬご支援に感謝申し上げます。

どのような状況下であっても、私たち日本赤十字社は、
皆さまの「いのちと健康を守ります!」

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染者の受入れ



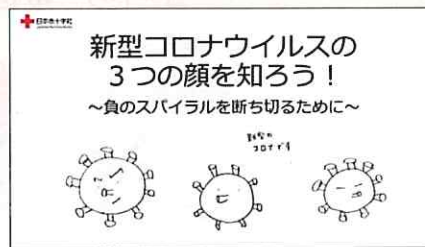
©Atsushi Shibuya/JRCS

発生初期からクルーズ船や中国武漢市からのチャーター便による帰国者の一時滞在施設などに医療チームを派遣し、現在も赤十字病院では命を守る最前線での活動をしています。

子どもたちへ新型コロナウイルス感染症に対する授業を実施



日本赤十字社が作成した教材や動画を使い、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、差別をしないためにどうしたらいいかを子どもたちが考えることができる授業を県内の学校等で実施しています。



令和2年7月豪雨災害 救護活動報告



©Atsushi Shibuya/JRCS



令和2年7月3日から降り続いた大雨により、九州を中心とした西日本において、広範囲に渡って甚大な被害が発生しました。日本赤十字社では、各被災地の行政と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、被災地域に救護班等の医療チームを派遣して被災者の健康を支えるとともに、救援物資の配布等を行いました。埼玉県支部からも、さいたま赤十字病院の医師を内閣府調査チームの一員として派遣し、被災地の調査及び現地情報の収集、被災地の行政が行う災害対応に関する支援などを行いました。

被災者への救援物資の配付

平時から市町村へ配備し、火災・洪水などの災害時に被災者へお配りしております。

布団セット



286セット

毛布



306枚

生活用品セット



227セット

令和元年度
配備実績

市町村への災害救護資機材の配備

地域の防災力の向上を目指して、市町村に救護資機材を計画的に配備しています。

移動炊飯器



LP ガス発電機・
コードリールセット



ポータブル蓄電池・
ソーラーパネルセット



手回し充電式防災ラジオ



簡易ベッド



自動ラップ式簡易トイレ



※その他18品目・計24品目の災害救護資機材を3か年(令和元~3年度)で計画的に配備

これからも、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

